

平成 16 年 2 月期 第 1 四半期業績の概況（非連結）

平成 15 年 6 月 26 日

株式会社 スギ薬局

（コード番号：7649 東証第一部・名証第一部）

（URL <http://www.drug-sugi.co.jp/>）

（TEL：0566 - 73 - 6300）

代表者 代表取締役社長 杉浦広一

問合せ先 取締役管理本部長 増田泰朗

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高の会計処理の方法の最近会計年度に 有 無
 おける認識の方法との相違の有無

2. 平成 16 年 2 月期第 1 四半期業績の概況（平成 15 年 3 月 1 日～平成 15 年 5 月 31 日）

（1） 損益の状況 （百万円未満切捨、少数第一位未満を四捨五入）

	平成 16 年 2 月期 第 1 四半期 (当四半期)	前年同期比 増減率	平成 15 年 2 月期 第 1 四半期 (前年同四半期)	(参考) 平成 15 年 2 月期
	百万円	%	百万円	百万円
売上高	19,706	31.3	15,005	66,149
営業利益	1,188	30.7	909	4,233
経常利益	1,323	30.6	1,012	4,746

（2） 当四半期において当社の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象
 該当する事象はありません。

3. 平成 16 年 2 月期の業績予想（平成 15 年 3 月 1 日～平成 16 年 2 月 29 日）

当初予想と変わりがありません。

平成 16 年 2 月期の業績予想

（平成 15 年 4 月 3 日発表）

	売上高	経常利益	当期純利益	1 株当たり年間配当金		
				中 間	期 末	
	百万円	百万円	百万円	円 銭	円 銭	円 銭
中間期	38,750	2,750	1,500	10 00		
通 期	81,000	5,500	3,000		10 00	20 00

（参考）1 株当たり予想当期純利益(通期) 229 円 50 銭

（注）当四半期に係る数値について、公認会計士又は監査法人の監査を受けておりません。

上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。主な要因は本資料 5 ページに記載しております。

1. 平成 16 年 2 月期第 1 四半期（平成 15 年 3 月 1 日～平成 15 年 5 月 31 日）の業績

わが国の経済は、平成 15 年 5 月の日銀の景気判断下方修正にみられるように未だ景気回復の兆しが見えず、また大手銀行への公的資金注入が決定されたように金融システムへの不安から、雇用環境、個人消費ともに厳しい状況が続いております。

当社の主な営業地域である中京地区におきましては、弱含みである全国の状況と比較すると個人消費も底固い動きとなっておりましたが、軟調なドルと S A R S の影響や韓国の景気後退による東アジア経済の減速が予想され、先行きの不透明感が拭い去れない状況です。

このような状況の中、当四半期は、売上高 19,706 百万円（前年同四半期比 31.3%増）、営業利益 1,188 百万円（同 30.7%増）、経常利益 1,323 百万円（同 30.6%増）となりました。

（売上高の状況）

当四半期の売上高は 19,706 百万円（前年同四半期比 31.3%増、4,701 百万円増）となりました。これは、9 店舗の新規出店（1 店舗の退店）および既存店の売上の伸び率が+10.7%と好調であったことによるものと考えております。また、来店客数も 9,427 千人（前年同四半期比 32.6%増、2,320 千人増）と順調に増加しております。

（表 1）売上高の対前年同月比の推移

（単位：％）

月	平成 15 年 2 月期					
	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月
全店	+25.5	+22.8	+23.9	+23.3	+27.9	+23.3
既存店	+8.2	+5.2	+6.0	+7.4	+7.2	+4.7

月	平成 15 年 2 月期			平成 16 年 2 月期		
	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月
全店	+32.1	+31.2	+29.8	+38.8	+28.7	+27.3
既存店	+13.2	+12.3	+9.5	+16.3	+9.1	+7.8

（注）1. 上記の数字は、当社営業速報に基づいて作成されております。

2. 既存店は開店後 13 ヶ月を経過した店舗を指しております。

なお、当四半期の商品群別売上高は表 2 のとおりであり、調剤が売上高構成比 6.0%と前年同四半期比より 1.2 ポイント上昇しました。他方、ヘルスケアが同 31.6%、ホームケアが同 20.8%とそれぞれ前年同四半期より 1.2 ポイント、0.3 ポイント低下しております。

(表2) 商品群別売上高

	平成16年2月期 第1四半期 (当四半期)		前年同 四半期比 増減率	平成15年2月期 第1四半期 (前年同四半期)		(参考) 平成15年2月期	
	金額 百万円	構成比 %	%	金額 百万円	構成比 %	金額 百万円	構成比 %
調剤	1,192	6.0	66.7	715	4.8	3,184	4.8
ヘルスカア	6,219	31.6	26.4	4,922	32.8	21,306	32.2
ビューティケア	5,050	25.6	32.0	3,825	25.5	16,832	25.4
ホームケア	4,090	20.8	29.2	3,166	21.1	14,366	21.7
ハビーカー	1,351	6.9	29.0	1,047	7.0	4,667	7.1
その他	1,801	9.1	35.6	1,328	8.8	5,792	8.8
合計	19,706	100.0	31.3	15,005	100.0	66,149	100.0

(売上総利益の状況)

当四半期の売上総利益は5,550百万円(前年同四半期比31.3%増、1,322百万円増)売上高総利益率は28.2%(前年同四半期比変化なし)となりました。

(販売費および一般管理費の状況)

当四半期の販売費及び一般管理費は4,362百万円(前年同四半期比31.5%増、1,043百万円増)売上高に対する販売費及び一般管理費の比率は22.1%(前年同四半期比変化なし)となりました。化粧品の販売促進の強化による広告宣伝費の増加と都心部への新規店舗の出店による賃借料の上昇があったものの、人員配置の見直しなどによる効率化策の実施により販売費および一般管理費の売上高に対する比率の上昇を抑えることができました。

(財政の状況)

当四半期末の資産の部合計は、33,486百万円(前期末比8.9%増、2,740百万円増)負債の部合計は、16,110百万円(前期末比15.4%増、2,151百万円増)資本の部合計は、17,375百万円(前期末比3.5%増、589百万円増)となりました。

主な資産および負債の変動は、商品10,917百万円(前期末比21.3%増、1,915百万円増)買掛金11,403百万円(前期末比29.1%増、2,571百万円増)未払法人税等580百万円(前期末比52.5%減、642百万円減)となりました。

それぞれの変動の主な理由は、商品および買掛金の増加は、店舗数の増加により、未払法人税等の減少は、法人税等の納税によります。

(キャッシュ・フローの状況)

当四半期の現金及び現金同等物は、前期末に比較して 78 百万円増加し、9,846 百万円となりました。

営業活動の結果得られた資金は、1,112 百万円（前年同四半期比 9.8%増、99 百万円増）となりました。これは、税引前当期純利益に対して、主な増加要因として仕入債務の増加額が 2,571 百万円あり、減少要因としては、たな卸資産の増加額が 1,915 百万円、法人税等の支払額が 1,217 百万円あったことによります。

投資活動の結果使用した資金は、890 百万円（前年同四半期比 890 百万円増）となりました。これは、主に、新規店舗の出店に伴う固定資産の取得および差入保証金の支出によります。

財務活動の結果使用した資金は、143 百万円（前年同四半期比 31.9%増、34 百万円増）となりました。これは、すべて配当金の支払によります。

(設備の状況)

当四半期の出退店および当四半期末の各府県別の店舗数は以下のとおりです。

	平成 16 年 2 月期第 1 四半期 (当四半期)			(参考) 平成 15 年 2 月期
	出店 店	退店 店	期末店舗数 店	期末店舗数 店
愛知県	3	1	136	134
岐阜県	2	-	20	18
三重県	2	-	20	18
滋賀県	1	-	5	4
京都府	1	-	2	1
合計	9	1	183	175

2. 当期の見通し

当期の業績に影響すると思われる新規店舗の出店につきましては、平成16年2月期中間期で26店舗の見通しであり、平成16年2月期通期で55店舗を計画しております。

なお、新規店舗の出店については、天候などの外部要因の影響を受けやすく、出店数変動する可能性があります。現時点での平成16年2月期中間期および通期の業績見通しに変更はありません。

(注意事項)

業績の見通しにつきましては、当社が現時点で合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は見通しと大きく異なることがあります。

その要因のうち、主なものは以下のとおりです。

当社営業地域の経済状況の急激な変動

薬事法・大規模店舗立地法等の各種規制の大幅な変更

薬剤師有資格者の労働市場における需給関係の急激な変動 など